

★学校の教育目標	多様な個性を尊重し、一人一人が輝く児童の育成		★重点計画の概要
★目指す学校像（ビジョン）	<p>【めざす児童・生徒像】 ◎やさしい子 ○かしこい子 ○たくましい子</p> <p>【めざす学校像】 個性を發揮し合い子供が主役の楽しい学校</p> <p>【めざす教師像】 ○すべての“いのち”を守り、育む教師 ○子供一人一人を大切にした温かい学級をつくる教師 ○授業力向上のため研鑽を重ねる教師 ○地域の人や組織とつながる教育活動を展開できる教師 ○学び合いを大切にし、創造的な教育活動を展開できる教師 ○特別支援教育にかかわる専門的な知識・技能を身に付けた教師</p>		<p>○自他の“いのち”を大切にし、自己肯定感を高める教育活動の実践</p> <p>○対話やICT、書籍を活用した学びの充実</p> <p>○一律一斉の学びから、自分に合った多様な学びの創造</p> <p>○児童自ら課題を見つけ、探求し、協働して考えを深め合い、課題を解決していく「学びの循環」</p> <p>○地域をステージとする学びの充実</p>

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標		成果指標	
いのち	すべての”いのち”が輝き、よるこびあふれる未来をひらく教育の推進	互いに思いやり助け合う態度を育て、様々な人とかわる体験を重ねることにより、自他の”いのち”を大切に、自己肯定感を高める教育活動を実践する。	毎学期の思いやり週間の実施と振り返り、全校朝会でのSOSの呼びかけの実施、日常的な道徳の授業の中で対話的な活動を中心に、自己理解、他者理解を深める。そして、学年の実態に応じた学級指導を通して、自他の「いのち」の価値を見つめ、尊重する態度を育成する。	4	学年の実態に応じた学級指導を通して、全ての「いのち」の価値を見つめ、尊重する態度を育成することができた」と回答した教員が90%以上	4	「自分も周りの友達も大切にすることができた」と回答した児童が90%以上
				3	学年の実態に応じた学級指導を通して、全ての「いのち」の価値を見つめ、尊重する態度を育成することができた」と回答した教員が85%以上	3	「自分も周りの友達も大切にすることができた」と回答した児童が85%以上
				2	学年の実態に応じた学級指導を通して、全ての「いのち」の価値を見つめ、尊重する態度を育成することができた」と回答した教員が80%以上	2	「自分も周りの友達も大切にすることができた」と回答した児童が80%以上
				1	学年の実態に応じた学級指導を通して、全ての「いのち」の価値を見つめ、尊重する態度を育成することができた」と回答した教員が80%未満	1	「自分も周りの友達も大切にすることができた」と回答した児童が80%未満
学び	一人一人を大切にしながら多様な学びの実現	校内研究の授業構造化、発問・問い返し、自由進度学習の3分科会の視点から、児童の論理的思考力や表現力を育む授業づくりを目指す。		4	校内研の授業や日々の授業研究を通して、児童が粘り強く学び続けるための授業づくりについて学ぶことが出来たと答えた教員が90%以上	4	「授業中、友達の考えを聞いたり、自分で学習の仕方を工夫したり、ノートの書き方を工夫したりして、粘り強く学習に取り組むことが出来た」と答えた児童が85%以上
				3	校内研の授業や日々の授業研究を通して、児童が粘り強く学び続けるための授業づくりについて学ぶことが出来たと答えた教員が80%以上	3	「授業中、友達の考えを聞いたり、自分で学習の仕方を工夫したり、ノートの書き方を工夫したりして、粘り強く学習に取り組むことが出来た」と答えた児童が80%以上
				2	校内研の授業や日々の授業研究を通して、児童が粘り強く学び続けるための授業づくりについて学ぶことが出来たと答えた教員が70%以上	2	「授業中、友達の考えを聞いたり、自分で学習の仕方を工夫したり、ノートの書き方を工夫したりして、粘り強く学習に取り組むことが出来た」と答えた児童が75%以上
				1	校内研の授業や日々の授業研究を通して、児童が粘り強く学び続けるための授業づくりについて学ぶことが出来たと答えた教員が70%未満	1	「授業中、友達の考えを聞いたり、自分で学習の仕方を工夫したり、ノートの書き方を工夫したりして、粘り強く学習に取り組むことが出来た」と答えた児童が75%未満
学び	一人一人を大切にしながら多様な学びの実現	学習場面において意図的、効果的にICTを活用することで、協働して考えを深め合い、課題を解決していく活動を実践する。ミライシードのドリルパーク等を活用して、既習内容の定着や自らの習得状況や関心に応じた学習に取り組めるようにする。		4	授業において協働的な学びを行ったり既習内容の定着を図ったりするために、積極的にICTを活用することができた教員が80%以上	4	ICTを使って、「クラスの友達の考えを知ることで、自分の考えが深まった。」「苦手な学習に進んでチャレンジすることができた。」と答えた児童が80%以上
				3	授業において協働的な学びを行ったり既習内容の定着を図ったりするために、積極的にICTを活用することができた教員が70%以上	3	ICTを使って、「クラスの友達の考えを知ることで、自分の考えが深まった。」「苦手な学習に進んでチャレンジすることができた。」と答えた児童が70%以上
				2	授業において協働的な学びを行ったり既習内容の定着を図ったりするために、積極的にICTを活用することができた教員が60%以上	2	ICTを使って、「クラスの友達の考えを知ることで、自分の考えが深まった。」「苦手な学習に進んでチャレンジすることができた。」と答えた児童が60%以上
				1	授業において協働的な学びを行ったり既習内容の定着を図ったりするために、積極的にICTを活用することができた教員が60%未満	1	ICTを使って、「クラスの友達の考えを知ることで、自分の考えが深まった。」「苦手な学習に進んでチャレンジすることができた。」と答えた児童が60%未満
学び	一人一人を大切にしながら多様な学びの実現	第二図書館を読み聞かせや読書ルーム・情報活用センターとして活用することで、読書活動の充実を図り、豊かな情操を育む。一人1台端末と図書を有効的に活用して、自らに合った学び方、目的に合った方法で課題を解決する力を育成する。		4	「読書活動指導計画」を基に学校図書館や市立図書館を活用し学習指導を行った教員が80%以上	4	「自分の読みたい本や知りたいことが書かれている本や資料を学校の図書館や市立図書館で探し、活用することができた。」と回答した児童が80%以上
				3	「読書活動指導計画」を基に学校図書館や市立図書館を活用し学習指導を行った教員が70%以上	3	「自分の読みたい本や知りたいことが書かれている本や資料を学校の図書館や市立図書館で探し、活用することができた。」と回答した児童が70%以上
				2	「読書活動指導計画」を基に学校図書館や市立図書館を活用し学習指導を行った教員が60%以上	2	「自分の読みたい本や知りたいことが書かれている本や資料を学校の図書館や市立図書館で探し、活用することができた。」と回答した児童が60%以上
				1	「読書活動指導計画」を基に学校図書館や市立図書館を活用し学習指導を行った教員が60%未満	1	「自分の読みたい本や知りたいことが書かれている本や資料を学校の図書館や市立図書館で探し、活用することができた。」と回答した児童が60%未満
地域	地域をステージとする学びの充実と幼保小中・特別支援学校とのつながりによる一貫した教育活動の充実	地域をステージとする学びを充実させ、幼稚園・保育園、近隣の小中学校、七生特別支援学校とともに地域共生社会を築くべく、つながりによる教育を展開する。	地域の多様な人材である幼稚園・保育園や、近隣の小中学校、七生特別支援学校などと、互いの生活や学習活動を紹介したり、遊んだりして交流し、多様な個性を尊重し合える関係づくりをする。	4	「地域の人材を活用して授業を行い、交流を深めることができた」と回答した教員が90%以上	4	「地域の人と学習して、これからも交流を続けたいと思った」と回答した児童が90%以上
				3	「地域の人材を活用して授業を行い、交流を深めることができた」と回答した教員が80%以上	3	「地域の人と学習して、これからも交流を続けたいと思った」と回答した児童が80%以上
				2	「地域の人材を活用して授業を行い、交流を深めることができた」と回答した教員が70%以上	2	「地域の人と学習して、これからも交流を続けたいと思った」と回答した児童が70%以上
				1	「地域の人材を活用して授業を行い、交流を深めることができた」と回答した教員が70%未満	1	「地域の人と学習して、これからも交流を続けたいと思った」と回答した児童が70%未満

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。